

2025年度 とみしろほいくえん 園評価

基本	園の「目標」「理念」「方針」を研修を通して、理解する。概ね理解している。保育目標を理解して、園の方針、目標が活かされるような、保育活動がや内容が実行されている。前期 後期での職員自己評価を意識して、必要な改善措置を講じることで、保育の質向上につなげている。
保育内容	全体での保育計画を作成し、年齢ごと、及び発達の特性に応じて見通しをもった保育の実行ができています。保育指針を理解して、援助や支援をおこなっている。子ども達にとって、「楽しい雰囲気」の中で、保育者とのコミュニケーションがとれるように取り組んでいる。
健康 保健 安全管理	子どもの健康状態(アレルギー、持病、既往歴)を個別に把握して、健康管理及び必要な留意事項の理解に努めている。 感染症等の発症による医師の診断後の登園の際に、必要となる届出書の案内を病気別に理解している。 保育室の温度、湿度、換気、採光に配慮することができている。
保護者対応	好感の持てる態度で、保護者や見学者に対して明るく丁寧に対応している。子どもの園生活の様子を、保護者へ伝える際に、わかりやすく伝えるように心掛けて取り組むことができた。園だより、保健だより、年間行事、伝達事項などを常に把握して、適切に保護者へ説明することができている。
食育	乳幼児時期に身につけておきたい食事の際の、あいさつや姿勢、食具の使用方法を個別の発達特性を、見極めながら適切に指導している。 調理員、栄養士、保護者との連携をおこない、離乳食の進捗や、嚥下力を見極め適切な援助や助言がおこなえた。
行事	行事の趣旨やねらいを理解して、子どもの発達に沿って取り組むことができた。職員間で協力し合い、主体的に行事への参加がおこなえた。 子ども達の、声を丁寧に聞くことで、保育者と子ども達とで、披露したいものや挑戦してみたいものを題材に取り入れて活動した。
研修 会議	園内研修や、園外での研修を受講して、保育者個別の保育目標の具現化に繋げることができた。また、日常の保育に活かして子ども達に反映することができた。園内連絡、会議録、議事録、行事計画書を確認して活用している。 研修や会議等において、積極的に意見や発表をすることができていた。
専門性	保育業務で知り得た内容の守秘義務を守ることができている。保育の専門性を保護者や他職員への助言等に役立てられている。保育の専門性や質の向上に努めて、保育者として更なる向上心を持って業務に取り組めることができるよう園全体で考えていく。
統括	年度の始めに目標を定めて、前期 後期のⅡ期で職員は自己評価をおこない、振り返りをおこなうが、概ね目標の達成ができています。保護者との関わりに丁寧に対応している。また、改善点を理解して、改善に向けた努力と取り組みをおこなうことができています。多忙になりがちな業務改善のため、保育者へ時間の有効活用がおこなえる余裕を持てる環境を園全体で整えていく。